

学びの特色

広く学び、深く見つけ、自分を育てる。

文理の壁を越えた幅広い知識を得ながら、現実の企業・社会と実践的に深く関わる独自の学び。変化していく時代に対応できる力を養っていきます。



1 徹底した英語教育と海外留学を通じた「異文化理解教育」

「コミュニケーションツール」としての英語を集中的に学習。海外留学(1学期または2学期間)を通して異文化に触れ“global thinker(グローバルに考える人)”としての力を養います。



2 地域の企業・自治体等と連携した「課題探求プロジェクト」

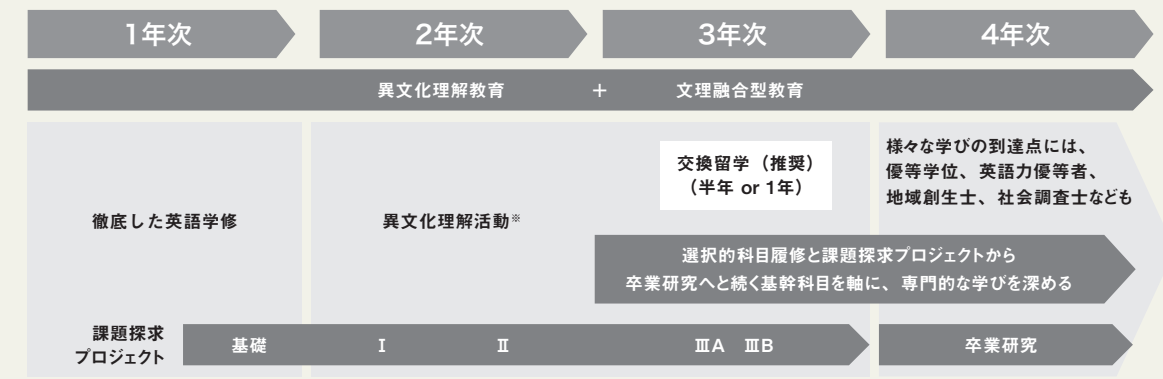
企業や自治体に足を運び、現実直面している課題を知り、社員・職員と一緒に調査し、課題解決に取り組みます。社会のリアルな現場から学ぶカリキュラムです。



3 理科的素養を身につける「文理融合型教育」

地域や企業の課題解決のためには、リサーチ手法やそのデータ分析など数理統計の知識も欠かせません。データサイエンスや科学技術に関する幅広い学識を培います。

学びのプロセス



※交換留学や短期海外研修などの異文化理解活動を卒業要件としています。交換留学は主に3年次に、短期海外研修は1年次から実施が可能です。

さまざまな学びの道

海外留学と課題探求プロジェクトの経験を十分に活かすために、共通の基礎知識の習得と柔軟な選択履修という仕組みを設け、学生の主体的な学びと国際水準での教育を実現していきます。

就職サポート

高い就職率

16年連続No.1

大学通信調査の「全国大学就職率ランキング」で、複数学部を有する卒業生1,000人以上の国立大学において16年連続1位。23年は、1,209人の卒業生のうち875人が就職し、319人が大学院に進学しています。

高い定着率

在職3年以内の離職率

全国平均 32.3% 福井大学 10.4%

就職先企業の質の高さや学生の社会人基礎力の高さから、在籍3年以内の離職率は10.4%※1と全国平均(32.3%)※2に比べ、非常に低い数字となっています。この離職率の低さは、就職先の職場の雰囲気や人間関係が良好でミスマッチが少なく、また、給与・勤務時間・福利厚生などの労働条件が良い企業に就職できている証拠といえます。

※1「福井大学の教育と卒業生についてのアンケート調査2022」
※2 2023年厚生労働省調査「新規学卒就職者の在職期間別離職率の推移」

国際地域学部の就職先例

就職先の種類	就職先
国、地方自治体、関連諸団体	外務省、厚生労働省、福井労働局、福井地方公務局、福井県庁、公益社団法人福井県観光連盟、福井商工会議所、学校法人金沢医科大学、国立大学法人福井大学など
グローバルに展開する企業	キーエンス、凸版印刷、日本通運、前田工業、フクビ化学工業、日華化学、セーレン、福井村田製作所、エイチアンドエフなど
商業・金融・サービス業・マスコミ等の企業	アクサ損害保険、東京海上日動火災保険、福井銀行、北陸電力、日刊県民福井、北國新聞社、福井放送、森永北陸乳業など
IT・観光関連企業	楽天、合同会社DMM.com、サントリーステムテクノロジー、共同コンピュータ、ドリームスカイ名古屋、ルートインジャパン、はいや松風園、中部国際空港、Peach Aviation、ANAエアポートサービスなど
大学院進学	ヨーク大学(イギリス)、早稲田大学

入試情報

入試種別	概要
一般選抜(前期日程・後期日程)	大学入学共通テスト、個別学力検査等を総合して評価します。詳細は、「一般選抜学生募集要項(11月上旬発表予定)」でご確認ください。
学校推薦型選抜II	出身学校長の推薦に基づき、個別学力検査を免除し、幅広い基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、面接を実施し、国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。詳細は、「学校推薦型選抜II学生募集要項(9月下旬発表予定)」でご確認ください。
総合型選抜I(高大接続型入試)	大学入学共通テストは免除し、第1次選考では、高校での取り組みやその成果に関するレポート等により、取り組みの内容と文章力及び自己アピール力等を評価します。さらに、提出された調査書等に基づき基礎的学力の評価を行います。最終選考では、取り組みに対するプレゼンテーション及び面接(口述試験を含む。)により、国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。詳細は、「総合型選抜I(高大接続型入試)学生募集要項(8月下旬発表予定)」でご確認ください。

※発表時期は変更する場合があります。 ※私費外国人留学生選抜は、本学ホームページ「受験生の方へ」をご覧ください。
※各入試の概要や総合的な案内は、「入学者選抜要項(7月発表)」でお知らせします。また、本学ホームページ「受験生の方へ」もご覧ください。

国際地域学部募集人員

学科	入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜II	総合型選抜I
		前期	後期		
国際地域学科	60	30	12	10	8

国立大学法人
福井大学
UNIVERSITY OF FUKUI

<https://www.u-fukui.ac.jp>

学務部入試課

〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号
お問い合わせ先: TEL.0776-27-9927
E-mail:g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

詳しくはこちらをご覧ください



国際地域学部
WEBサイト



福井大学
WEBサイト



国際地域学部
公式YouTube
チャンネル

2024年6月発行



School of Global and Community Studies

国際地域学部



世界に目を向ける。
 “いま・ここ”を見つめる。
 未来に踏み出す「新しい自分」に出会う。

世界
 地域

を学び、

地域
 世界

に生きる。



学部理念

未来志向で、地域に織り込む世界へのまなざし

「織り込む」とは、本来、地色と違う色の糸や模様など、異なるものを入れることで、より表現豊かな織物を織ることを言います。国際地域学部の理念に「織り込む」を取り入れたのは、地域の発展を願う福井県の先人達の努力により、「繊維王国」と呼ばれるようになったことに由来します。繊維のみならず福井の産業は常に世界へそのまなざしを向けてきました。地域に世界のまなざしを、そして世界に地域のまなざしを織り込むことで、これまで以上に豊かな社会を創ることができるのです。本学部では、そのような歴史を踏まえ、地域と世界を織り込みながら、活気ある心豊かな未来を創りたいと考えています。



国際地域学部長 岡崎 英一

Envisioning a Future Connecting the Local and the Global

少人数学部ならではのダイナミズム。
 仲間との間で生まれるケミストリー。

自分で自由に学びを深める。
 企業の海外戦略研究で、ベトナムも訪問。



佐藤 遼雅

合同会社DMM.com 金沢事業所 勤務
 2020年 3月卒業

高校時代の英語の先生が通訳の仕事もしていた人で、授業中に話してくれる海外での生活体験に憧れ、「僕もいつか日本を飛び出して・・・」と、そんな夢を持っていました。進学のとおり「国際」の名が付く学部が新しく誕生することを聞いて、その第一期生になることに魅力を感じ入学しました。

国際地域学部は、1学年60名程度のコンパクトな学部。学生同士はもちろん、先生や職員の人たちとも一対一でコミュニケーションできる環境にある。膝を突き合わせて語り合う中から、自分一人ではとても考えつきもしなかった新しい発想や気づきをずいぶん得ることができました。

「課題探求プロジェクト」では「街中映画館の活性化」をテーマに、社会人の人たちとも交流しながら、アイデアを形にしていきました。その過程で、リサーチの方法、現実の見方、課題の捉え方、アイデアの出し方、そして何よりも互いの意見を交換しより良いものにつくり上げていく難しさと人とコミュニケーションしていく勇気を学ぶことができました。

人と人が生み出すダイナミズムとケミストリー、その体験はこれからの仕事の中でも活かしていける大きな財産になると思っています。

伊藤 由羽

フクビ化学工業株式会社 経営企画部 勤務
 2020年 3月卒業

高校時代から英語が好きで、夢は通訳になること。「英語教育に力を入れている」とのこと、この学部に入りました。けれど入学後、通訳への夢は少しずつ変わっていきました。今だから言えることですが、外国語の発音が上手にできることよりも、「何を伝えるのか」こそが大事。「伝えるものを持っている自分」を磨くことを大学時代でやっていこうと思ったのです。

「課題探求プロジェクト」ではグローバル企業が海外で成功するための要因を、3年にわたって研究することになりました。研究協力をお願いしたのが、福井のグローバル企業であるフクビ化学。そう、私がいま勤めている会社です(笑)

資料提供や社員ヒアリングなど、企業の協力で基礎調査と分析を行うことができました。活動2年目には実際にベトナムの現地法人への訪問が叶い、訪問依頼から調査、提言書のまとめまで、あらゆることが実践的に学べました。

いま多くの大学が一つの分野に特化した「スペシャリスト」の育成に傾斜していく中、バランスが取れた幅広い視野を持つ「ゼネラリスト」の養成を目指しているのが、この学部の最大の魅力、これからの時代に必要なスキルだと思っています。



科目ピックアップ 地域創生の視点での学びを支える科目

経済理論(ミクロ)

パンかご飯か、バスか車か、私たちは常に選択をしています。選択の原理は何か。各人の選択は互いにどんな影響をもたらすのか。選択に関する理論を学びながら、私たちが直面する今日的課題について考えます。



地域文化マネジメント

環境デザイン、博物館、まちづくり、をキーワードに、地域のなかで形成された歴史・文化遺産を学びます。地域文化を継承する理論と技術について理解を深め、地域と連携した文化資源の活用について議論します。

ジェンダーと教育の社会学

学校などの教育活動は、男女平等であるはずの場所ですが、ジェンダーの格差を再生産する機能も持っています。教育におけるジェンダーの課題、それらを乗り越えるための学習のあり方を学びます。



科目ピックアップ グローバルな視点での学びを支える科目

国際関係論

国際政治、国際経済、国際法、外交、国際機構と、それぞれの背景にある歴史と理論を体系的に取り上げます。またグローバル化とその派生概念の「グローカル化」は、原理的に地域や国内社会にも通じていることを学びます。



比較文化論

16世紀から19世紀の工芸品(主に陶磁器・漆器)を取り上げ、日本とヨーロッパとの文化交流の軌跡を学びます。また福井県内の工芸品について調べながら、日本の工芸品の今後のあり方について考察します。

AIと機械翻訳

ChatGPTやGoogle翻訳など、AIを活用した言語生成・翻訳ツールは、学習や仕事をすすめる上で非常に便利なものです。これらのツールを倫理的かつ効果的に使う方法を学び、その可能性を探ります。

